

JHRCA

日本ホテルレストランコンサルタント協会 関西支部

10月例会報告

2007年10月23日

1. 10月例会報告

1) 10月通常例会

今月の講師は、現在JTBより大阪観光コンベンション協会に出向され観光部長として活躍されておられる前田雅裕氏より、関西で増加している外国人観光客の現状についてお話いただきました。講演要旨は以下のとおりです。

小泉内閣の外客1000万人誘致政策のヴィジットジャパン計画の効果で、関西も来日外国人旅行客が増えてきている。

大阪を訪問する外国人旅行客はアジア圏が圧倒的に多く、欧米人は京都へ行く。

関西来訪外人客数は、韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポールの順で、韓国と台湾で半数を占める。

これらの来日外国人客は団体観光客が多いが、近年ビジネス客、個人旅行客も増加し消費単価も団体旅行を大きく上回るので、絶好のマーケットと見る。従ってこれらの旅行客に対し、高品質、土地柄を反映したメニューを英、韓、中国語などで紹介する必要がある。大阪観光コンベンション協会ではホテル・レストランの宣伝をかねて「グルメOSAKA e-menu」で多言語 e-menu をリニューアルし協力しているので相談されたい。

そのほか豊かな外国人個人旅行の増加にともない、中国語で「あまから手帖」の抜粋、「大阪一級棒」(6地区に分けてグルメ、名物、ショッピング、観光スポットの紹介冊子)を発行し各ホテルのフロントにおいて貰っている。

大阪市とも協力して中国語の「大阪遊ば」で大阪の名所も案内している。

これまで大阪のホテルから見向きもされなかった海外からの修学旅行が、急激に増え06年度は韓国、中国、台湾から年間8,000人を受け入れ、府内の12小学校、50中学校、73高校との交流が旅行目的になっている。これらの宿泊は全て朝食付で定員一杯収容するので客室単価も高い。日本の修学旅行も同様のことが言えるのでホテル側の積極的な受入を期待している。

2. その他の報告

- 1) 清水正会員をコミュニケーション担当理事として正会員連絡会の運営全般をお願いしました。
- 2) 10月例会に参加された山田建設興業(株)社長室長 寺本 達也氏をゲスト会員として今後参加していただきます。寺本さんは清水会員の同級生です。
- 3) 11月より08年度に入るため、正会員連絡会を17.30より開催します。また第1回例会を盛り上げるため、例年通りボウジョレーヌーボを楽しむ会として会員相互の懇親を深めます。

- 4) また、12月例会は12月11日に忘年会として、橋本ゲスト会員が経営されている道頓堀ホテルで、ご自慢の中国料理を楽しみながら今年1年の回顧談を会員相互で行うべく準備しております。
- 5) 当会のホームページを更新しましたのでご覧ください。またページに掲載希望事案があれば事務局までお申し付けください。
- 6) 前出の総会のうち次年度活動計画として、正会員、ゲスト会員名簿の更新を行い連絡事務の効率化を図ります。

以上

JHRC A関西支部事務局 山田 寛